

令和2年度 市教育研究会 小・中連携研修会（福平中グループ）研究のまとめ 平川小学校

【小・中連携研修会の目的】

全教育活動を通して小学校と中学校の連携を深め、「豊かな人間性」、「確かな学力」、「健康・体力」などの「生きる力」の育成を図る。

特に、9年間の学びの連続性を追求することを通して、学習指導方法の工夫や改善を行い、基礎学力の定着を図るとともに、中1ギャップの解消やいじめ・不登校などの課題解決のため、一人一人の児童生徒のよさを認め、どの児童生徒も存在感・充実感をもてる学校・学級づくりに努める。

1 福平中グループの研究主題 <令和元年度～令和3年度>

生きる力を育むために、基本的な生活習慣や基礎学力をしっかり身に付けさせるにはどうすればよいか
サブテーマ ～小中学校で情報交換を密にし、授業で学習のしつけを整えさせるには～

2 主題設定の理由

学校の教育活動が目指している「生きる力」の育成のためには、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決していくために必要な思考力・判断力・表現力、学びに向かう力、人間性を育てていかななくてはならない。

三校の取組において、これまでに生活面から挨拶や言葉遣いなどの基本的な生活習慣をしっかり身に付けさせ、落ち着いて学校生活を送ることを目指し取り組んできた。また、学習面からは学習習慣の確立、授業を受けるための約束ごとなどを通して、各校の実態に即した学習習慣の定着に向けた指導をすすめてきた。しかし、実態としては、基礎的・基本的な生活習慣や学力を確実に習得させるまでには至っておらず、主体的に取り組む態度の育成においても課題が多い。そこで、昨年までの成果と課題を検証するとともに、これからの3年間は、基本的な生活習慣や確かな学力の定着について3校で話し合い、連携を図りながら具体的な共通実践ができるように本テーマに即した研究を推進していきたい。

3 研究の視点

- (1) 社会生活を営む上で欠かせない知識・技能（基礎学力）を明らかにする。
 - ア 生徒指導（しつけや善悪の判断・マナーなど）
 - イ 学習指導（基礎・基本の定着の手立て、授業の工夫、課題の示し方、家庭学習の指針など）
- (2) 明らかになった基礎学力の課題や成果を元に3校で共通実践する内容を明らかにする。
- (3) 3校で継続して共通実践を行う。

4 研究期間・内容 <令和元年度～令和3年度>

年次	内 容	担当校
1年次 (R1)	校種間の相互理解を図るとともに、「正しい生活習慣の確立」「基礎学力の定着」を柱とし、共通実践事項を具体的に決めて取り組み、研究実践の中で明らかになった課題や問題点について整理し、その焦点化と2年次、3年次の研究の方向性について共通理解を図る。	福平中学校
2年次 (R2)	1年次に焦点化された課題や問題点を解決するための実践などについて協議し、解決の糸口を探る。	平川小学校
3年次 (R3)	2年間の研究実践を集約するとともに、問題解決に向けての新たな方向性を探る。	福平小学校

5 令和2年度研究計画

期 日	会 名	場 所	内容等
令和2年 1月23日(木)	小中連携研修会 推進委員会	福平中学校	令和元年度研究の成果と課題について 令和2年度小中連携研修会に向けての確認
令和2年 6月22日(月)	小中連携研修会	平川小学校	平川小授業参観 分科会ごとに実践報告・意見交換
令和3年 1月22日(金)	小中連携研修会 推進委員会	平川小学校	令和2年度研究の成果と課題について (報告のため今年度内にいったん集約する →新年度に見直し、研修会当日の資料にする) 令和3年度小中連携研修会に向けての確認

6 開催日時
令和2年6月22日（月）13:50～16:30（受付13:50～14:00）

7 開催校
平川小学校

8 当日の日程

15:00～15:15 令和元年度共通実践事項の成果・課題の交流
※放送にて、各校推進委員が行う。（3～5分程度）

15:00～16:15 分科会ごとにテーマに沿っての話し合い（参加者：各校2名）

A なめらかな小中接続（引き継ぎ会） 中1の早期適応を図るための情報交換・個別の理解の共有
B よりよい生徒指導 よりよい人間関係づくりを育む、積極的な生徒指導の在り方
C 確かな学力向上 児童・生徒の学力を定着させるための指導の手立て
D 支え続ける特別支援 特別支援学級在籍児童の学校適応を図る情報と支援の共有
E 応える教育相談 児童・生徒の悩みや不安を受け止め解決をめざす相談の在り方
F 健やかな保健指導 免疫力を高める生活リズムの整え方

〈 協議内容 〉

- ① テーマに対する学校の実態や課題、他校に尋ねてみたいことなどの交流
- ② 意見交換
- ③ テーマに対するまとめ
- ④ 共通実践事項確認

16:15～16:20 全体会場（体育館）へ移動

16:20～16:35 全体交流
※各分科会報告（各分科会司会者）
※意見交流

16:35～16:38 会場校 校長あいさつ

16:38～16:45 片付け・解散



【分科会の様子】



【全体会の様子】

<p>① なめらかな小中連携（引き継ぎ会）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年生は、2分前着席・1分前黙想の取り組み。 ○ ノーメディアデー
<p>② よりよい生徒指導</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報教育の充実 (夜9時～朝8時：情報機器の禁止，児童・生徒・保護者への授業研修，教職員研修) ○ 「積極的生徒指導」の確実な実践 (いいところをほめる，認め合う場の設定，掲示の充実など) <p>※ 「積極的生徒指導」で力を入れたいこと（具体的な取り組み）</p> <p>【平川小】 ・自己肯定感を上げて，自分も友だちも大切にできる。（「全校やさしさの花」掲示）</p> <p>【福平小】 ・認め合う機会を増やす。（委員会でのキラリカード等） ・学年をまたいだ交流を（校内オリエンテーリング等）</p> <p>【福平中】 ・サンクスボード，サンクスフラワーの充実，道徳の充実，先生同士の意識を揃える。</p>
<p>③ 確かな学習向上</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 【中学校】2分前着席，1分前黙想 【小学校】1分前着席，チャイム黙想 ○ 小中連携をしてのテスト前の『家庭学習強化週間』，ノーメディアデー ○ 聴く姿勢の指導「立腰」
<p>④ 支え続ける特別支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援，指導計画は三校統一した方向で保護者へ開示。 ○ 教育相談で進路について話題とし，中学校支援学級見学と体験会をする。 ○ 自己肯定感がもてるような声掛けや支援を行う。
<p>⑤ 応える教育相談</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 窓口を広くもち，日常の中で安心感のある教育相談を行う。 ○ 「学校楽しいーと」をもとに子供の不安や悩みを受け止め，積極的な解決を目指す。
<p>⑥ 健やかな保健指導</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活リズムを整えるための情報提供，啓発をする。（メディアの活用） ○ う歯治療をすすめる。治療勧告書配付を続ける。